

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（10月定例会）会議録
開催日時	平成24年10月19日（金曜日）午後2時00分から4時00分まで
開催場所	保谷庁舎3階 会議室
出席者	委員：須永議長、齋藤副議長、内田委員、川崎委員、倉島委員、操野委員、白木委員、濱崎委員、原委員、矢野委員、山田委員 （欠席）稲葉委員、本領委員 事務局：磯崎社会教育課長、神田主査
議題	(1) 社会教育施策の今後のあり方について (2) 報告 その他 1 放課後子供教室の取り組みについて 2 関東甲信越静社会教育研究大会（10月24日～26日）の参加について 3 都市社連協第4ブロック研修会（11月1日）の参加について
配布資料	東小学校の放課後子供教室2012（東小学校施設開放運営協議会） 平成24年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック開催要項 みんなの生涯学習 No.109号 図書館だより 第47号
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
平成24年9月定例会議の会議録1ヶ所訂正後、承認する。	
<p>(1) 社会教育施策の今後のあり方について</p> <p>○議長： 前回配布資料2「これまでの議論のまとめ2」を見ながら、今後の施策の方向性を中心に議論したい。</p> <p>主な意見等 委員： 今後の施策の方向としては、現状を生かすことから考えてみたい。文化振興は市長部局に移管されたが、文化財行政は教育委員会に残っている。文化財を教育資源として活用し、公民館や図書館とも連携しながら事業を進めていくことで、社会教育の機能を発揮していくことができるのではないだろうか。</p> <p>委員： 教育や学習に係る事業は、子どもや高齢者などを対象として教育委員会だけでなく、市長部局でも実施されている。それぞれにやっていて、どういう目標を持ってやっているのか不明確である。市全体でどういった事業を実施しているのかを見て、再整理する必要があるだろう。その際、全体をコーディネートする部署が必要だと思うが、教育委員会が、生涯学習推進の立場から全体をコーディネートすべきだろう。現状ではそういった担当がないので、組織改正が必要になると思う。</p>	

○委員：
教育全体をコーディネートするところが必要であり、それが社会教育の役割だろう。

○委員：
いろいろな部署で事業を分かれてやっていることが問題なのだろうか。いろいろな取り組みがされている事で市民の活動が活発に行われているということもある。今のままでもコーディネートできるのではないだろうか。

○委員：
他の部署と有機的につながることは大切だろう。

○委員：
社会的要請に対応した講座の企画をするのは、公民館だと思う。行政が税金を使って何をやっていくのかということを実施として位置付けていく必要がある。また、行政と民との役割分担の位置づけも考えておきたい。民間を巻き込んで進めていくという動きが出来ないので進んでいけない部分があるのではないだろうか。

○委員：
これまでも、いろいろな事に取り組んでいるが、どうしてできなかったのかという理由や、問題点を考えていくことが大切だろう。これまでに出された計画の内容はすばらしいが、計画の目標が具体的ではないために事業評価がきちんとできなかったように思う。実効性のある施策を進めていくためには、予算や人的配置などの限界や制約条件を把握したうえで、提言をしたい。

○委員：
教育計画の一つずつの事業は進んでいるが、全体としてどういう方向に進んでいこうとしているのかわかりづらい。実施時期や担当課を明確にするなど具体化・定量化した計画を作り、中・長期的にどう進めていくのかわかるような計画を作りたい。

○委員：
成果を検証するためには、具体的な数値化された目標も必要だろう。

○委員：
生涯学習と社会教育の違いをどう考えたらよいのか。

○委員：
概念としては生涯学習が広いものである。それは、生涯学習と社会教育における学習の違いだといえる。生涯学習の中には、学校教育における学習が入るし、また、教育的でない活動の中でも学習があり、そこで我々は学ぶわけですから、それも生涯学習に含まれる。行政関係でいうと、教育委員会は教育行政としての教育活動を実施しており、一般行政でも、福祉・環境・健康などの分野でも学習的な事業を行っている。行政は全体として、教育委員会、一般行政関係なく生涯学習支援を全体として行っているといえる。生涯学習振興行政の課題のひとつとしては、横の連携を図っていきましょうということが言われている。それは、教育委員会内の連携もあるし、教育委員会と一般行政の連携もある。さらには、民間関係の学習支援活動とのつながりも考えていくことになるだろう。それに対して、社会教育行政は社会教育における学習をどう考えるかに尽き

る。しかし、社会教育の学習が行われるエリアの広さや、社会教育として地域を活性化していく必要もあり、社会教育の立場として学校教育などと連携していくということをもともと課題としてある。そこをクローズアップしていくと、社会教育行政と生涯学習推進行政の違いは何かということになり、混乱してしまうということになるだろう。

○委員：

今学校でも、安全教育について学校全体の計画を示すことが求められている。これまでも学年ごと、教科ごとの教育活動のいろいろな場面で安全教育に取り組んできたが、学校教育でも横のつながりを含めた検討が必要になっている。今回の施策の検討に当たっては、生涯学習にまで広げすぎるとまとまっていけないと思うので、まずは、社会教育の中の教育活動に絞って考えていったら良いと思う。その中で横のつながりも考えていくことができると思う。

○委員：

社会教育と生涯学習は分けて考えた方が良いと思う。社会教育は、地域の中で人がつながっていくことだと思う。社会教育の地道な取り組みによって、地域の中に人を育てていくことからやっていきたい。例えば、昔は多くの保護者が、集団登校に協力してくれていた。しかし、今は、なかなか保護者の協力が得られない状況がある。これまでやっていた大切なことに気づいて、こういう状況は、おかしいのではないかということ指摘していく提言にしたいと思う。

委員：

自治会も協力して、谷戸ふるさとまつりが実施されているが、こういった活動を地域の中で、毎年続けていくことが大切だと思う。地域に関わることから、スクールゾーンに車が進入し、子どもたちが危険だということを行政に伝えることができ、すぐに対応してもらえた。地域でおこる様々な課題を解決していく道筋を作ることが社会教育活動ではないかと思う。

○委員：

地域にある課題をどう解決するのか、それにアプローチするために社会教育はどう関わっていけるのか考えていきたい。

○委員：

西東京市全体の生涯学習の取り組みの中で、社会教育課が何をやっているのかをみると、今後社会教育が何をやればいいのかかわかるのではないか。

○委員：

市の事業の中で、社会教育としてはこういうことを担っているといたことがわかると良い。

○委員：

公民館は、地域づくりを担い、図書館は地域の学習センター的役割を果たしていると思う。個々には社会教育としていろいろなことをやっている。

○委員：

西東京市の社会教育として何かシンボリックな事業を実施し、場を作っていけば、社会

教育主事などの人を配置しようということになるのではないか。地域づくりをする仕組みを作り、人を育てていくことが必要だろう。

○委員：

先に、地域の人材をつなぐ人を配置して、事業を推進していくということも考えられるのではないか。地域にいる人を活かして事業を推進するためにも、それをコーディネートする人がいないと進まないと思う。

○委員：

地域福祉と社会教育の関係を考えた時、市民のニーズを掘り起こし、それに対する支援やサービス提供を市民の学習活動で実施していくという展開ができないだろうか。そこから新しい施策も見えてくると思う。

○委員：

ボランティア養成講座は、財源がなく、2年に1回の開催というものもあるようだ。

○委員：

受け入れ側の問題もあるが、養成講座を修了してもなかなか活動の場がないようである。

○委員：

人材養成事業の実施については、行政の財政難の中、コストを考えると、NPOや社会福祉協議会など民間にやってもらった方が良いものもある。しかし、必要な事業については、行政だから無料というのではなく、有料にしても行政として手掛けていくという方向も考えられるだろう。

○委員：

施策の方向性は、難しくしないで分かり易い方向性を出したい。

○委員：

「これまでの議論のまとめ2」がみんなのレポートをまとめたものなのだから、これを基に議論し、付け加える内容を出していったらどうだろうか。

○議長：

次回は、社会教育課の役割や位置づけについて議論していきたいと思う。

(2) その他

1. 放課後子供教室の取り組みについて

○事務局：

昨年社会教育委員の会議より出された『西東京市における「放課後子供教室」のあり方について』の提言内容を受け、今年度、東小学校と住吉小学校で試行事業を実施することになった。

※矢野委員より、配布資料「東小学校の放課後子供教室2012（東小学校施設開放運営協議会）」に添って、報告

- ・東小学校では、保護者や学校の協力もあり、11月から3月まで、帰宅せずそのまま校庭での自由遊びや学習事業に参加できる試行事業を実施することになった。試行事

業を実施する中で、課題や問題点を整理し、安全・安心な居場所づくりに向けた取り組みを進めたいと考えている。

2. 関東甲信越静社会教育研究大会（10月25日～26日）の参加について

- ・ 10月25日（木曜日） こもれびホール前に午前8時50分集合・午前9時 出発
- ・ 10月26日（金曜日） 甲府ホテルに午後1時頃集合・出発

3. 都市社連協第4ブロック研修会（11月1日）の参加について

○事務局：

マイクロバスの手配が出来なかったため、各自会場集合でお願いしたい。

○議長：

以上で本日の社会教育委員の会議（10月定例会）は終了する。

※次回会議 平成24年11月16日（金曜日）午後2時から